

「滑稽俳句協会の目指すもの」

2008.10.28 （聞き手 高橋素子）

高橋 チラホラ聞こえて参りますご好評にお答え致しまして、本日は「滑稽俳句協会の目指すもの」と題しまして、八木健会長に再びインタビューを・・・
「図々しいぞ！」ってお叱りも受けそうですが・・・（笑い）

会長 初回のインタビューは評判が良かったですよ。
柳の下に二匹めの泥鰌がいるかどうか・二匹目の泥鰌聞き手の手を逃れ・・・となるかも・（笑い）

高橋 では、本題に入らせて頂きます前に、今の俳句界の現状を・・・
芭蕉に根っこを持ち正岡子規の立ち上げた俳句の世界は、今、大別すると大きな三つの協会が存在すると言う事ですが・・・

会長 日本伝統俳句協会、現代俳句協会、俳人協会ですね。
通常三協会と呼ばれています。

高橋 その三つの協会の違い、それぞれの目指すもの、そしてその中での滑稽俳句協会の果たす役割をお話頂ければと思いますが・・・

会長 そうですね。三協会のちがいは・・・・とりたてて言うほどおおきな・・・違いはないように思います。
季語と呼ぶか季題と呼ぶか 旧仮名か現代仮名か。
とりあわせが多いか一物仕立てが多いか。
その程度でしょう。
それに多くの俳人があるときは現代俳句風をつくり、翌日は花鳥諷詠の句をつくったりと振り子のようなものでして、この「振り説」は金子兜

太先生の請け売りですが・・・。

日本伝統俳句協会会長の稲畑汀子先生にしても
花鳥諷詠を離れて現代風の句をおつくりになる
こともあります。

三協会はひとつになっても差し支えないと、有
馬朗人先生がおっしゃっています。
しかし、その三協会と滑稽俳句協会とは大きな
違いがありますが・・・。

高橋 滑稽俳句協会の誕生は、それほど画期的なこと
なんですね。今ご活躍の三協会の皆様は高浜虚
子から枝別れした孫弟子かそのお弟子さんでこ
れと言った大きな区別はないということです
ね。

会長 それぞれの協会の独自性を出すことは難しい一
面もあります。私は、現状を否定しているの
ではありませんよ。私は俳句にあるべき滑稽をと
りもどすことを念願としているだけですから。

高橋 つまり芭蕉の誕生より350年いつしか失われ
ている滑稽の復興を強く主張して具体的に展開
して行こうというのが、協会を起こされた動機
ですね？

会長 そうですね。滑稽が俳句の本質です。・・・こ
のことに異を唱える俳人はこれまでに出現して
いないのです。にもかかわらず現状では滑稽が
足りない。心ある俳人はそのことを憂慮なさっ
ています。だから金子兜太先生もご注目なさっ
て「がんばれ」のコメントつきで滑稽俳句協会
にご入会くださいました。

高橋 お心の広い先生ですね。

会長 大人物です。
蛇笏賞を受賞なさった後藤比奈夫先生も滑稽句
を勉強したいとおっしゃってご入会。この謙虚
さには心を打たれました。

高橋 次に順調な滑り出しを見せた「滑稽俳句協会」の現状について具体的にお伺いしたいと思います。

現在の会員数、男女数の比、また年齢構成等はどうの样になっているのでしょうか？

会長 現在140名近いと思います。

男女別では男性が多いですね。

年齢は60歳から80歳ぐらいでしょうか。

私は作品本意で、男女別とか年齢には殆ど関心が持てないのですが年齢層に注目するなら、滑稽句はベテランの俳人のおつくりになっているということです。ベテラン俳人の多くが童心をお持ちです。

高齢になっても童心の句をつくるのが私の目標のひとつですから、嬉しいことですね・・・

高橋 素敵なお目標ですね。ぜひ見習って私もいつまでも若々しくありたいと思いますが・・・（笑）

ところで、巾広い一般会員からの投稿が会員数の割にはまだまだ少ない様な気が致します。

皆様の中にはお知りにならなかったり、遠慮なさってる方々も多いのでは・・・と。

そこで、「守って頂きたい規定と作品募集」を、ホームページの表紙画面に今一度、しっかり載せて頂ければと思っていますが・・・

会長

1. 毎月末までにハガキで「今月の俳句」お一人、三句をお送り下さい。
2. データーベースにはお一人初年度は50句まで登録出来ます。
3. 滑稽についてのエッセイ・論文・私の見つけた滑稽句（三句まで）を募集しています。
4. 協会報には 今月の投句のすべてと論文、インタビューなどを掲載しています。この位でしょうか？それから微苦笑俳壇に投句したものと重複してもかまいません。

ませんが、微苦笑俳壇に掲載された作品は協会報の今月の句一覧には掲載されません。

高橋 ありがとうございます。ところで、会長は「可笑しい俳句講座」とか「滑稽論」の中で滑稽句の作り方をいろいろご教授下さってますが、こういうのが一番良い滑稽句だという様な何か基準はありませんか？

会長 「滑稽はこれだ」と決めつけることは滑稽です。
辞典的語源的滑稽解説はすぐにでも出来ますが、「笑い」は心のあり方によって差のあるものです。ある人には可笑しい 別の人にはそれほどでもない。絶対的なものはないのです。

私なりに滑稽句を分類して「可笑しい俳句講座」10回を掲載していますが、あれが絶対というものではありません。あれを議論の踏み台にして欲しいのです。

高橋 なるほど一概に滑稽といっても人それぞれ感じ方も違えば、作るものも違って来て当然という事ですね。
生まれも生きて来た道も違うのですから当たり前ですね。
ごめんなさい。愚問でした。（笑い）

会長 とても良いご質問です。
ああでもない こうでもない、滑稽句について自由闊達に語り合ううちに 滑稽句が見えてくる。あるいは新しい滑稽句論が誕生するでしょう。

文芸は本来 自由な精神の発露です。俳句は季語定型という枠はありますがその中で自在につくる。そのうちに滑稽句が自然に生まれると思います。

だからこうしてつくりなさい・・なんて強制できるものでもない。ハンで押したような滑稽句

をつくっても仕方ないですからね。

高橋 ところでお話は変わりますが、顧問のお一人でいらしゃる本阿弥秀雄社長は、初号の「協会発足に寄せて」のご挨拶の中で、「上質の滑稽を」と題してお話されています。

また、会長ご自身も会則の中で「質の高い滑稽俳句を後世に残す」と明言されてますね。

私、俳句で見るまで「竹婦人」って言葉知らなかったのですよね。初めてこの言葉に出会った時は、広辞苑で調べて・・・（笑い） だから最初に詠んだ人のアイディアは面白いなって感心して笑っていたんですよ。

ついでに女性が抱く枕は何て言うのか調べたりして・・・（笑い）「竹奴」って言うのですね。会長ご存知でした？

これも季語なんですね。

でも、それから見ていると、あっちでもこっちでも季語が「竹婦人」の句だらけ・・・

中にはちょっと思われるものまで・・・（笑い）

会長 俳句は明治時代にはかなり強烈な・・・紙面に掲載をはばかるような、つまり上品な女性には耐えられないような内容の句がつくられていました。それは短歌は女性、俳句は男性という区分けが自然に出来ていたのです。

虚子が女流俳句をとりあげて以来、女性が増え続けて今や 俳句人口の大半を女性が占めるようになり、その過程で「性」を題材にした句は影をひそめてしまったのです。

しかし、これは微妙ながら俳句の根源に関わる問題です。「性」は人間の根源にあるものですから、俳諧の連歌の発生時には猥雑なことが大きなテーマでした。

ですから、そうしたものが影をひそめてしまう

ことが良いとは思えません。

高橋 八木健の可笑しい俳句講座」の中の一つにエロチシズムもあり

★ 蟬殻をぬぎつつあればセミヌード（八木健）

★ 秋田小町コシヒカラせて稲を刈る（八木健）

★ 人妻をしかと抱きしめ村芝居（魚田裕之）
・・・等

素晴らしい作品が掲載されていますね。

生意気を言わせて頂ければ、殿方の皆様方もただ右にならへではなくてこの様に機智と上品なエロチシズムに富んだ作品を・・・と思いますが・・・

会長 その通りです。
どこまで許されるのか。
私はその基準をつくるつもりはありません。
私には私なりの「上質な」というラインがあります。微苦笑俳壇の選句も、それを基準にしています。

高橋 また、他の方の句を評する場合にも、質の高い滑稽批評を・・・

でないと折角褒めてあげたつもりでも、作句者から「こんな下品な意味の句なんか詠んでない」とお怒りのお言葉が・・・これも人気のある「微苦笑俳壇」の会長の「親父ギャグ」ではなくて（笑い）、「駄洒落」「地口」を皆さんの目標にと思います。

・・・ですから、会長が御覧になってちょっとと思われる場合には、投稿品の添削や差し戻しの権限をフルに活用して頂きたいとも思っていますが・・・

会長 基本的に座談の場で少しお酒が入った程度がよろしいですね。泥酔したような作品には「高尚なユーモア」は存在しません。
また誰かを傷つけるような作品や差別用語を使った作品は掲載しません。
協会の俳句の広場は俗なことを雅の言葉で俳句

らしく語り合いたいです。

高橋 ところで八千草主宰の山元志津香さんの言われる様な川柳にならず詩情を漂わせた滑稽句・・・これもまた素晴らしいですね！・・・個人的に私の好みを言わせて頂ければ・・・金子みすずに通じる様な句

★ 雑巾を初夏のバケツに遊ばせる
(山本 賜)

また、その反対に

★ 股つかみパッチの乾き確かむる
(田代青波)

これは、最初の五文字を読んだ時には、驚きましたが、洗濯物は確かにこうやって乾きを見るのですから、本当の生活句です。他の青波さんの句の中にも上手に生活句の中に滑稽を取り入れていらっしゃるって上手いなあと感心させられる滑稽句が多々ありますね。

・・・でも、こうやってみると結構、私も巾広く滑稽が好きなんだなあって。（笑い）

会長 私は最近気付いたのですが 滑稽は失われてしまったのではなく隠れているのです。
と申しますのは 全国の結社の主宰がそれぞれ滑稽句を秘蔵なさっているのです。それを滑稽俳句協会が発掘して参ります。
そうすると全国の結社の主宰がこんなに沢山滑稽句をつくっていたのかとみなさん驚かれると思います。
するとそれぞれの結社の会員が我も我もと滑稽に挑戦するようになる。それもそれほど遠いことではありません。

高橋 ありがとうございます。どうやら今回は二匹目の泥鰻には逃げられてしまった様ですが・・・（笑い）
お蔭様でいろいろ勉強になりました。

会長 ・・滑稽を語るときは割合「大真面目」になり

ます。ご期待に沿えなくてすみません。

高橋 滑稽の復興を求めて」の活動をご展開なさるに
当たって、創始者としての「八木健滑稽協会会
長」のご努力、ご健闘は大変なものだとご推察
致します。

何卒くれぐれもご健康にはお気をつけ頂い
て・・・
益々のご活躍お祈りしております。

今日は私の拙いインタビューにお付き合い頂き
まして本当に有難うございました。

会長 なかなか率直で、私には好感の持てるご質問で
したよ。なにより滑稽俳句協会の将来のために
ご質問くださっているのがよくわかりました。
ありがとうございました。

(2008年 10月号)